

『 ぱんだより 』

※パンダからのお便りという意味で「ぱんだより」と名付けました。
 スパークスのアジア地域における情報発信レポート
 第42号(2009年11月5日)「上海現地レポート②」



第40号に続き、「上海の現地レポート②」をお届けいたします。
 今回は、上海の見所をご紹介します。

上海の町

上海万博に向けて、町中いたるところで工事をしているため、万博開幕まで恐らく完璧な町を見ることが出来ません。とはいえ、上海の町は依然としてかなり魅力が溢れています。

ここで「豫園」(よえん)という庭園を紹介したいと思います。豫園は明時代(1577年)に建設された中国独特の江南庭園建築芸術の特色を持つ古代庭園です。大都市上海で昔の中国の町並みを楽しめる場所として世界中の観光客で賑わっていました。実は豫園は上海地元の人にも大人気ということもあり、ここには上海一と言われる小籠包の有名なお店もあります。また、地元の神様を祀る「城隍廟」という寺があり、上海でのビジネスの成功を祈願する仏教信者に大人気のようです。



豫園の町並み



豫園の庭園



城隍廟



豫園から現代の上海の一角を垣間見ることが出来ます。

上海の高層ビル群

今上海では30階以上の高層ビルはおよそ3,000棟以上と言われています。東京で約200棟と言われているため、約15倍以上高層ビルが建てられていることとなります。こんなに高い建物を建てる必要があるの?と疑問に思うかもしれませんが、上海にはそれなりの事情があります。

まず、中国は日本以上に都市化が進んでいます。中国全土の人々の多くが上海のような大都市で働きたいと思っているので、上海の人口は年々増加し、土地が足りなくなっています。また、中国では個人で土地を買うことが出来ないことから、不動産開発会社がどうせ建てるなら高く建てた方が効率的という考えから今のようなビル群が見られるようになりました。



中国のウォール街と呼ばれる上海の一角です。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『ぱんだより』

スパークスのアジア地域における情報発信レポート



上海ヒルズ

通称「上海ヒルズ」の「上海環球金融中心」はその有名な「上海タワー」に代わって、上海のシンボルになろうとしています。また、100階にある展望台(474M)は世界で一番高い展望台であることがギネス記録に認定されました。

100階の展望台は入場料が150元(約2,200円)と高額であることに加え、非常に混雑しているようなので、ゆっくり楽しみたい人にはあまりお勧めはできません。実は展望台に登らず「上海ヒルズ」を楽しむ方法があります。87階にあるカフェでゆっくりしながら上海を眺めるという裏技です。カフェに置いてある日経新聞(アジア版)を片手にし、高級な中国茶を楽しむ時間はとても贅沢に感じます。

87階から上海を一望すると、40階ぐらいの建物がかかなり低く見えて、感動が収まりません。東京にもし地震が少なかったら、きっともっと高いビルが建てられていたのではないかと想像が膨らみました。



「上海ヒルズ」の87階のカフェから見た上海の夕日です。



←夜の「上海ヒルズ」

50元(約700円)もする上海ヒルズの日経新聞→



日本と上海

現在上海に住む日本人は約4.8万人にも上っているようです。この数字はここ6年間で約5倍になっています。また、出張や旅行目的で上海を訪れる日本人は年間約145万人を超えていると言われています。日本と上海はいろいろな意味で本当に近いと感じさせられます。

また、業界を問わずに多くの日本企業は中国での現地法人を上海に開設しています。将来的なビジネス市場規模や投資環境の良さは上海が日本企業に好かれている理由として挙げられます。

来年5月に開かれる上海万博は、史上最高の7000万人程度の来場者が見込まれています。高度成長が続く上海が東京を超えるビッグシティになる日は遠くないでしょう。



上海に様々な日本文化が浸透しています。



ぱんだよりが人気出るように!



(編集後記)「上海ヒルズ」に登った日はちょうどギネスから「世界一高い展望台」として認定される日でした。なんか嬉しくなります。

(告られタイ)



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。